

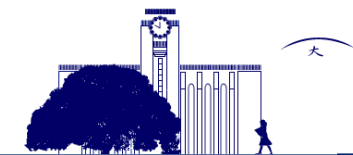
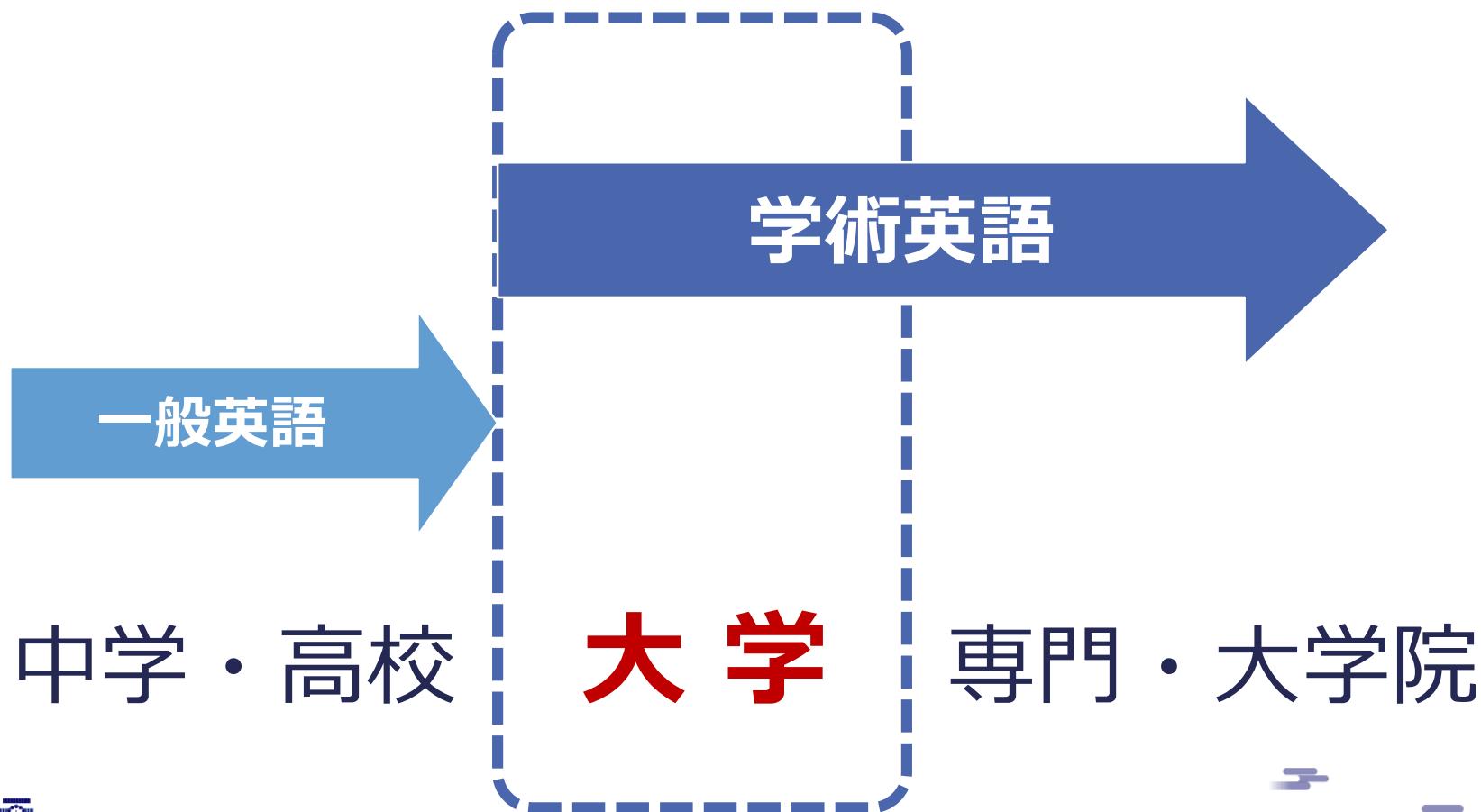
京都大学の英語教育

英語カリキュラムの紹介

京都大学国際高等教育院
附属国際学術言語教育センター
金丸 敏幸



大学英語教育の位置づけ



京都大学の英語は……

「学術研究に資する英語（学術英語）」

EAP: **E**nglish for **A**cademic **P**urposes



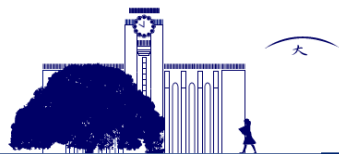
「学術的**教養**」

と

「学術的**言語技能**」

リーディング

ライティング
-リスニング



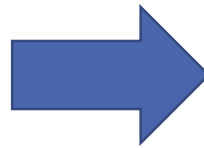
英語新カリキュラム

1 回生

クラス指定 (必修)

リーディング

ライティング
-リスニング



2 回生

E 科目 (選択必修)

E 1
(英書講読)

E 2
(英語講義)

E 3
(英語技能)



1 回生英語の詳細

リーディング

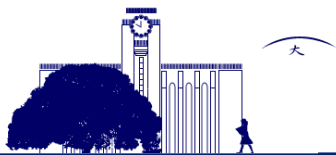
- クラスサイズ：約40名
- 学部ごとに教科書を指定
- 前期と後期で教員は交替
(一部学部は継続あり)

まとまった長さの英語文章の読解を通して、国際的に通用する教養を身につける

ライティングーリスニング

- クラスサイズ：**約20名**
- 学部ごとに**教科書を統一**
- 前期と後期で教員は交替
どちらかは**ネイティブ教員**

アカデミックライティングの知識や技能と英語講義の聴講に向けたリスニング能力を修得する

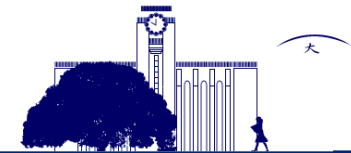
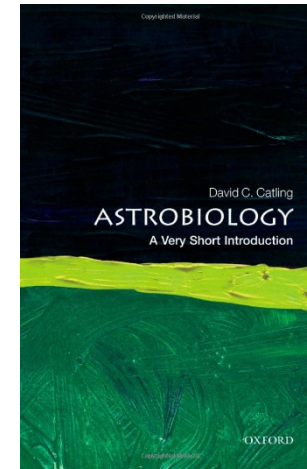
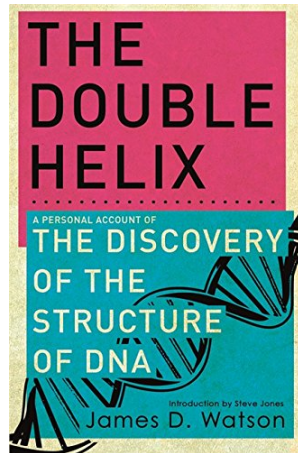


リーディング (R)

- **英語を通じた教養の涵養**

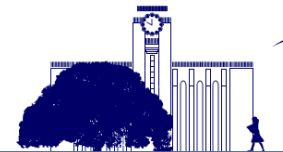
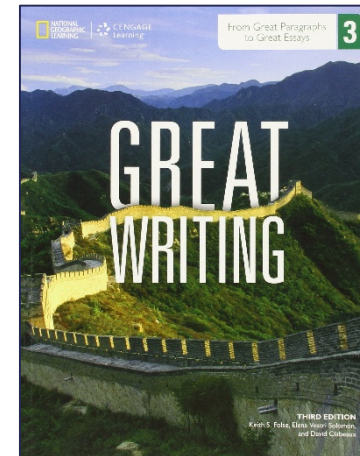
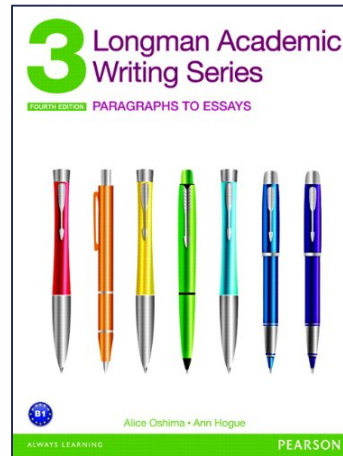
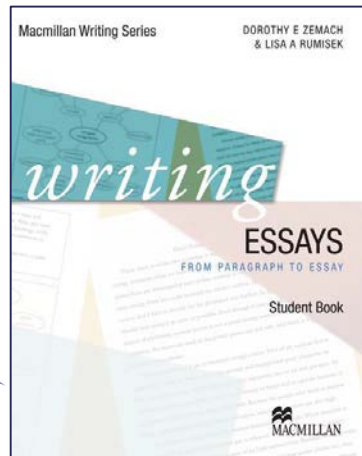
- 学部ごとの目標に合わせた教科書の読解
- 様々な読み方に取り組む (精読, 多読, 速読など)
- 訳して理解するだけでなく, ディスカッションやプレゼンテーションなどのアウトプットも含まれる

- **教科書の一例 (ex. 理学部)**



ライティングーリスニング (WL)

- 全クラス共通のシラバス
 - 前期のテーマ：Paragraph to Essay
 - 学期の最後に300～500語の英語エッセイを提出
 - 後期のテーマ：Basics of Academic Report
 - 学期の最後に1,000～1,500語の英語レポートを提出
- 学部ごとの統一教科書



ライティング－リスニング (WL)

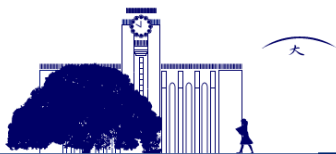
• リスニングの授業外学習

- － 毎週：オンライン教材（GORILLA）上の課題
 - 課題13回のうち、**8回以上の完了**が単位認定条件
 - 一回の学習期間は1週間、**締切を過ぎると未完了**
 - **学習状況**を成績に反映。十分に時間をかけること
- － 毎月：授業中に確認のリスニングテスト
 - **4回のテスト**の点数が成績に反映
 - 病気などの場合は追試あり（前期は**7月20日**）



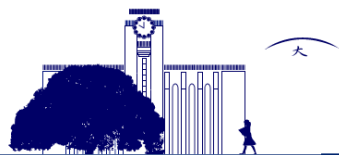
リスニング学習の流れ

- ログイン→「参加中のコース」
 - 前期は：KU Academic Listening (A)
 - 課題用と復習用とあるので間違えないように
 - **15分以上**操作をしないとログアウトするので注意
- 毎週，課題Unitのレッスンを順番に学習
 - 8つ目の「Lesson Test」に合格し（チェックが付く），最後の「Unit Passed」にチェックを入れたら完了
 - **チェックを忘れないこと！**



リスニング課題の注意

- **毎週，定期的に学習する！**
 - **未完了が6回目**になった時点で単位の**修得不可**
 - 締切前にあわてて取り組まないこと
 - 締切前日に未完了だと**KUMOI宛に**リマインダが届く
 - **リスニングテストを必ず受験する！**
 - 成績評価は**テストの点数**で決定
 - 授業に遅刻すると受験できないこともある
 - 初回授業で配られるプリントで**日程を確認**すること
- ※ リスニング課題の質問用に**オフィスアワー**あり

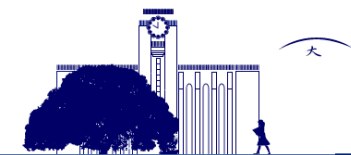


学術語彙の学習

- 『京大・学術語彙データベース基本英単語1110』
 - 「文系・理系共通語彙」の**477 words**を学習
 - 学習状況は**授業中の小テスト**で確認



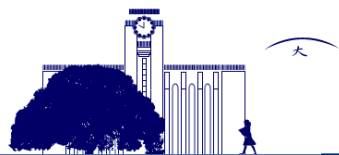
学部や専門分野によらず、
すべての学生が1回生の
うちに獲得すること



WLの成績評価

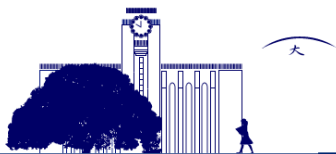
- 全クラス統一基準

	Writing 授業の取組	学術語彙	リスニング テスト	TOEFL ITP
前期	60%	10%	30%	—
後期	50%	10%	20%	20%



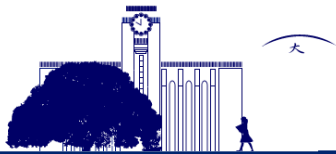
再履修について

- 単位が修得できなかった場合 → **再履修クラス**
 - リーディング：前後期共通クラス
 - ライティングーリスニング：前期用・後期用各クラス
 - 再履修用の教科書は統一されたものを使用
 - 再履修でも，授業内容や成績評価は通常と同じ
 - リスニング課題はもちろん，後期分はTOEFL ITPも評価対象
- 再履修クラス開講時限：**(原則) 5コマ目**
 - 希望者多数で受講できない場合もあるので注意
 - 後期が未修得の場合は **2回生以降も再履修を受講**する



上級者クラスについて

- **ライティングーリスニングのみ**
 - より高度な英語運用能力を身につけたい人
 - リスニングの課題完了条件が免除（試験は実施）
- **開講曜日時限：月・木曜日5コマ目**
- **履修条件：**
 - TOEFL iBT 80以上か, IELTS 6.0以上
 - 海外留学経験など（審査あり）
 - （後期のみ）4月のTOEFL ITP 600以上
- **説明会：4月3～5日 13:30～13:45 @ 4共12**



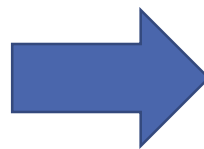
英語新カリキュラム（再掲）

1 回生

クラス指定（必修）

リーディング

ライティング
-リスニング



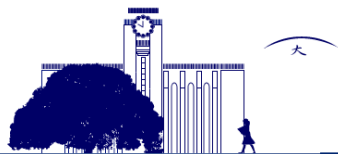
2 回生

E 科目（選択必修）

E 1
(英書講読)

E 2
(英語講義)

E 3
(英語技能)



2回生以降：E科目について

E 1
(英書講読)

- **英語文献の講読**を中心とした科目（文学・言語学など）

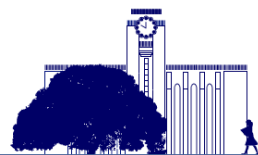
E 2
(英語講義)

- 「**英語で学ぶ全学共通科目**」
※ 1回生から受講可能

E 3
(英語技能)

- リスニングやスピーキングなどの**英語技能**やTOEFLなどの**外部テスト**を対象とした科目

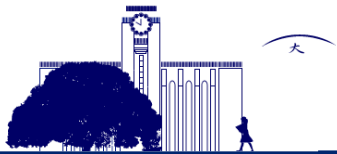
学部によって単位認定が異なるので注意



「英語で学ぶ全学共通科目」

「英語を学ぶ」のではなく「英語で学ぶ」

1. 海外の大学と**同じ水準**で学ぶことができる
2. 学術英語を**実践的に**身につけることができる
3. 留学生とも**積極的に**交流することができる



TOEFL iBTとTOEFL ITP

TOEFL iBT

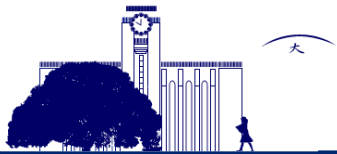
- Internet-based Test
- 試験内容：
Reading, Listening,
Speaking, Writing
- 点数：0～120

TOEFL ITP

- Institutional Testing
Program
- 試験内容：
Listening, Structure and
Written Expression,
Reading
- 点数：310～677

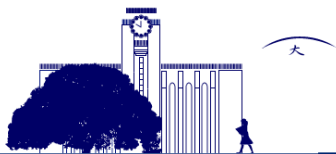


スコアに強い相関あり



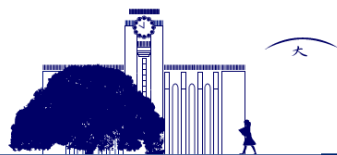
TOEFL ITP一斉試験

- **対象者：英語を履修するすべての1回生**
 - － 前期：受験しないと後期の英語が履修できない
 - － 後期：WLクラスの20点分として成績評価
- **試験日時**
 - － 前期：**4月14日（土）** 午前と午後
 - － 後期：**12月8日（土）** 午前と午後
 - ・ あらかじめ自分の受験する時間と教室を確認すること
- **持ち物**
 - － 学生証・HBの鉛筆（シャープペン）・消しゴム



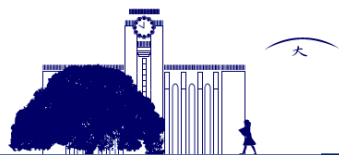
ITPとiBTのスコア換算

TOEFL ITP	TOEFL iBT
640~677	111~120
590~637	96~110
<u>550~587</u>	<u>79~95</u>
513~547	65~78
<u>477~510</u>	<u>53~64</u>
437~473	41~52
397~433	30~40
347~393	19~29
310~343	9~18
310	0~8



英語ガイダンスのまとめ

- 京都大学の英語：**学術英語**
- **1回生**：RとW L，学部ごとに共通化
 - W L：**リスニング課題**，20人クラス，ネイティブ教員
- **2回生**：**E科目**（英書講読，英語講義，英語技能）
- **再履修**：未修得のものと同じ科目，**5コマ目開講**
- **英語で学ぶ全学共通科目**：E 2科目でもある
- **TOEFL ITP一斉受験**：**4月14日**と**12月8日**

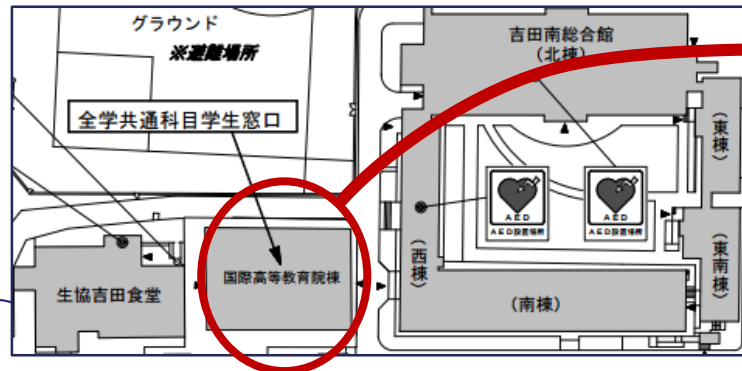


国際学術言語教育センター (i-ARRC)

「英語で学ぶ全学共通教育」を支える
実践的な英語運用能力育成のための組織

「国際言語実践教育プログラム」の実施

- 専門家による一人一人に合わせた**アドバイス**
- e-Learningによる多彩な**英語教材**の提供
- 学期ごとの振り返りや**達成度**の評価



国際高等教育院棟で
英語の学習相談を
実施予定

